



AEDを使って講習を受ける受講者

チームNAMAZU 人命救助のための講習会開催

【深谷書記次長】新型コロナウイルスウィルス感染防止対策等で活動が制限された1年間でしたが、まちの救助隊チームNAMAZUは2月28日(日)に本田消防署の協力を得て普通救命講習を開催しました。緊急事態宣言中もあり、受講者の間隔を取る為に当初募集した人数から縮小をし、受講者7名、支部役員2名で行いました。心臓マッサージや心肺蘇生法にAEDの使い方など救助の手順を学びました。本来は人工呼吸も実技を行うのですが、感染防止対策により今年は簡略された実技でした。そして今年には使用した人形や機器は全て受講者が消毒を行います。

この講習は3年以内に再受講する必要があります。今回の受講者で3年以内の再受講が2名いました。認定証の色も変わるようです。今年も2月に福島県沖地震がありました。あってほしくないが、いざ目の前で人が人や急病人が発生したとき、助けることができるかもしれません。今年度もまた講習を計画します。皆さんも受講してみませんか。

国土交通省は2月19日に2021年度(令和3年)の公共工事設計労務単価を公表しました。2013年度(平成25年)の改定から9年連続の引き上げで全国全職種単価平均が2万409円(過去最高値となりました)。(2012年比53・5%増)主な職種として、大工24748円、とび工25082円、鉄筋工24839円、型枠工25511円、左官24360円となっております。

また「雇用に伴う必要経費」についても発表し、労務単価が2万409円(100%)の場合、事業主が労働者一人の雇用に必要な経費を含めると2万8777円(141%)と明示。その内、法定福利費4694円(23%)、現場作業にかかる経費(18%)合計41%が必要経費として示されています。

賃金に反映を

公共工事では設計労務単価をもとに、かかる人工の計算をし、工事の予定価格を決め、入札を行います。建設業では後継者不足、入職者不足と言われる昨今、いかに魅力がある建設業にするか、いかに建設業への入職者を増やしていくかが大きな問題となっております。建設業において賃金引上げは大きな課題の一つです。国が労務単価を政策的に引き上げても、現場で働く労働者に行き渡らないのでは意味がありません。その上で、葛飾区の公契約条例の制定は、大きな意味を持つものとなります。

職種	全国平均値	令和2年度比	職種	全国平均値	令和2年度比
特殊作業員	22,193円	+0.3%	運転手(一般)	19,916円	+1.7%
普通作業員	18,939円	+0.3%	型枠工	25,511円	+1.7%
軽作業員	14,623円	+0.7%	大工	24,748円	+0.7%
とび工	25,082円	+0.9%	左官	24,360円	+0.3%
鉄筋工	24,839円	+0.2%	交通誘導警備員A	14,364円	+2.1%
運転手(特殊)	22,835円	+0.9%	交通誘導警備員B	12,562円	+2.1%



たつみ分会総会

【たつみ分会・村越義一】たつみ分会では2月27日(土)に分会総会を行いました。例年通り、新小岩北地区センターで今年は和室の談話室を借りました。新型コロナウイルスの影響で人数制限の為、井岡常任、森書記を加えた17人の参加でした。時間も1時間以内と決められていたので村越分会長の挨拶の後、上村分会会計に会計報告だけしてもらい他の報告は総会のおりをそれぞれ目を通してもらいました。参加者の協力もあり、20分と

りました。また、新任では、事務局長に加藤信男さん(細田高砂)が就任。前年度まで役員に就いていた渡部伊勢子さん(旧副会長・たつみ)と柴田理吉さん(旧事務局長・細田高砂)、徳原良さん(旧事務局長・幸田)は、この総会で退任となりました。昨年度は予定していた活動が軒並み中止となってしまったので、今年度はやっていきたいと思いついて閉会しました。



建長会総会

新入学祝金

忘れず申請しよう

21年4月に小学校・中学校に入学をしたお子さんがいる組合員さん、『新入学祝金』の申請が始まりました。申請すると、5000円の図書カードがもらえます。時効は1年間(来年3月まで)ですが、申請忘れがないように、早めの申請をお願いします。申請をされる方は、申請書と添付書類を添えて、ご提出ください。申請に関するお問い合わせは、組合事務所まで。

